

6.実施施策

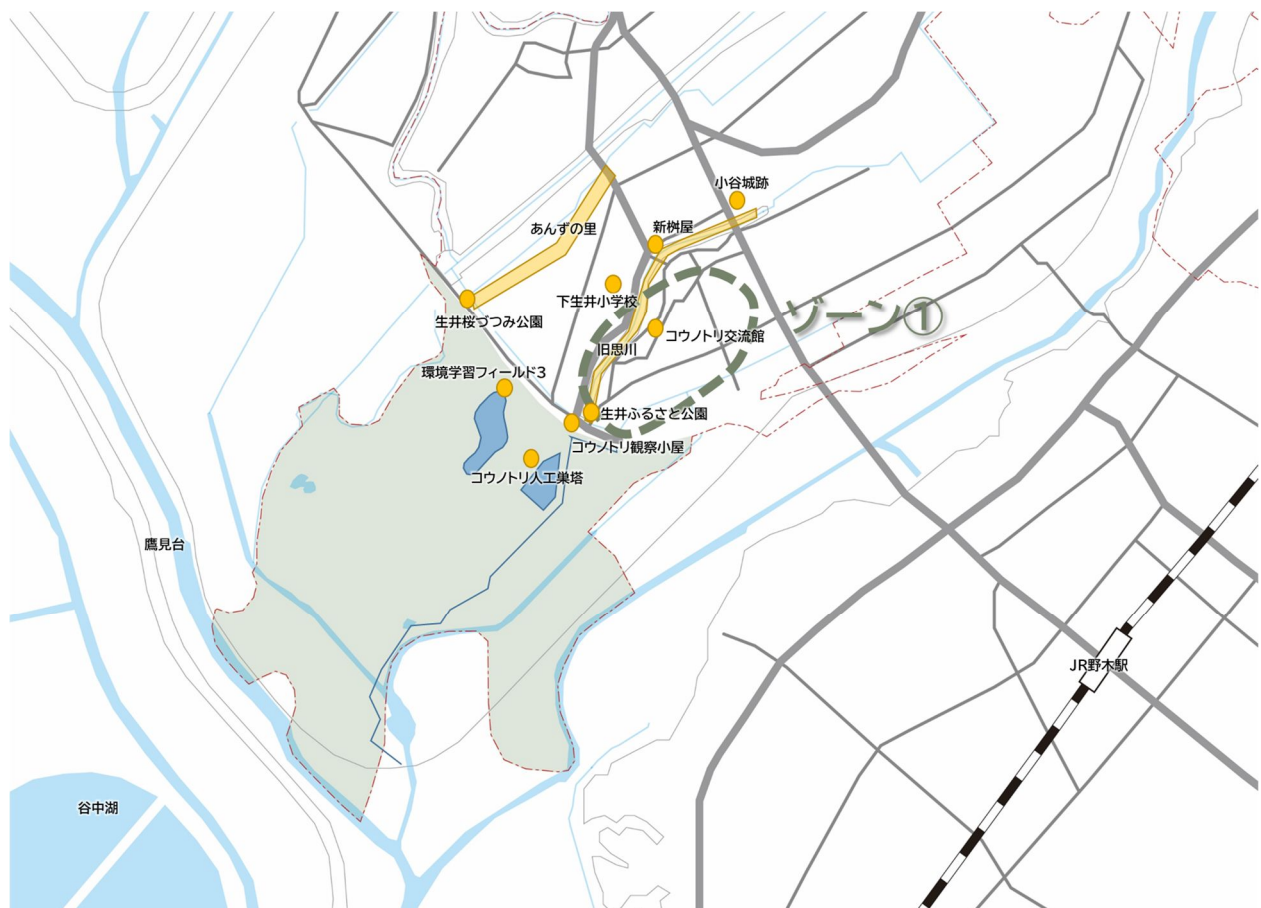
ゾーン①:コウノトリ交流館・旧思川周辺地域

目指すべきこと

コウノトリ交流館の機能の充実をはかるため、渡良瀬遊水地に関する情報発信や地域交流、また、遊水地の豊かな自然資源に触れるエコツーリズムや体験講座を実施する小山市域遊水地の総合拠点整備を新たに行っていきます。また、現在のコウノトリ交流館は、昔の原風景を残し、地域住民にとって大切な場所である旧思川を繋いで一体的に活用できるようにし、地域固有の魅力を活かしつつ、【体験⇒学び⇒保全】の好循環を生むための取組を実施していきます。

施策一覧

- 1 コウノトリ交流館の整備
- 2 旧思川の整備、導水調整
- 3 渡良瀬遊水地及び周辺地域の移動手段整備
(グリーンスローモビリティ、レンタサイクル)
- 4 ヨシの利活用機会の創出
- 5 渡良瀬遊水地、コウノトリ関係商品の開発販売促進
- 6 エコツーリズムの推進
- 7 渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力発信



1 コウノトリ交流館の整備

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

小山市では、小山市渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画(第2期渡良瀬遊水地関連振興計画)に基づき、地域の空き家を活用して休憩所、情報発信・案内機能のある渡良瀬遊水地の拠点施設として「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」を整備し、令和2年度から運営しています。本施設では、渡良瀬遊水地やコウノトリに関する情報の発信やヨシを使ったものづくり体験やマルシェ等の交流イベントの開催を行っています。運営を通じて様々な課題が出てきており、課題への対応が求められています。

課題へ対応として、強化・拡充すべき機能を整理し、令和6年度に「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館のあり方」を検討し、30年後の目標とする将来像を設定しました。また、将来的には地域住民や来訪者が安全・安心して利用できる防災ヤードと併設した施設への整備を目指します。

小山市では将来像の実現に向け、交流人口の増加、地域活性化に資する施設となるように、市民と来訪者の湿地保全再生の協働の場、歴史環境教育の場、地域住民や来訪者の交流スペースとして、渡良瀬遊水地や周辺地域の魅力の発信、ユニバーサルデザインの整備、公共交通機関の充実化等を進めます。

取組施策

期※	取組施策	担当課
短期	周辺の地域資源との一体的な利活用を目指し、周辺施設と連携した情報発信や、案内機能の充実化を図り周遊性を向上させます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	渡良瀬遊水地の自然や周辺地域の歴史についてストーリー性のある充実した展示を行い、国内外を問わず、多くの来訪者に、多様な歴史文化・自然環境への理解の促進を図ります。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	地域の農業文化や食文化に係るイベント、行事を充実させます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	展示棟において確保されている屋内の休憩・飲食可能なスペースについて周知をはかり、利用を促進します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	コウノトリをはじめとする渡良瀬遊水地の動植物情報の収集を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	施設の劣化が生じている箇所について、修繕します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期	コミュニティバス拡充等を進めることで、公共交通機関によるアクセス向上を図ります。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、都市計画課
短期	多様な人が快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	防災ヤードと併設に向けた手続きを開始し、整備に着手します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、治水対策課
中期～長期	既存施設からの移転等のほか、管理体制の構築に取り組みます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課

※短期…1～3年、中期…4～6年、長期…7～10年

コウノトリ交流館の更新スケジュール

期間	I 2025年～2030年	II 2031年～2035年	III 2036年～2041年
① 現在のコウノトリ交流館における取り組み	・現交流館の機能拡充 ・使用貸借契約更新(10年間)		
② 防災ヤードと併設に向けた新たな交流施設整備の取り組み		・新設地の土地購入 ・造成設計・造成工事 ・基本設計、実施設計、工事・移転	・管理・運営体制の構築

2 旧思川の整備、導水調整

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	○	◎	○

取組方針

旧思川は、渡良瀬遊水地の造成に伴う渡良瀬川改修工事の際に、思川の付け替え工事が行われた名残であり、周辺には豊かな自然を有し、昔ながらの農村の原風景を多く残しています。

地域固有の水辺環境である旧思川は、渡良瀬遊水地エコミュージアム基本計画に基づき下流部分が整備され、良好な景観が形成されています。

今後は渡良瀬遊水地やコウノトリ交流館と併せた活用も踏まえて整備を検討します。

また、旧思川は常時水が流れる水域ではなく、水質が懸念されることから、井戸水の活用も含めた導水による水の流れと繋がりを生み出すことを検討していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	井戸水の活用などの導水により水の流れを生み出すことで、水質を改善するなどの手法を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 治水対策課
中期～長期	旧思川の全体の整備は、活用方法を検討するとともに渡良瀬遊水地やコウノトリ交流館などの関連施設の整備と併せて検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 治水対策課



3 渡良瀬遊水地及び周辺地域の移動手段整備 (グリーンスローモビリティ、レンタサイクル)

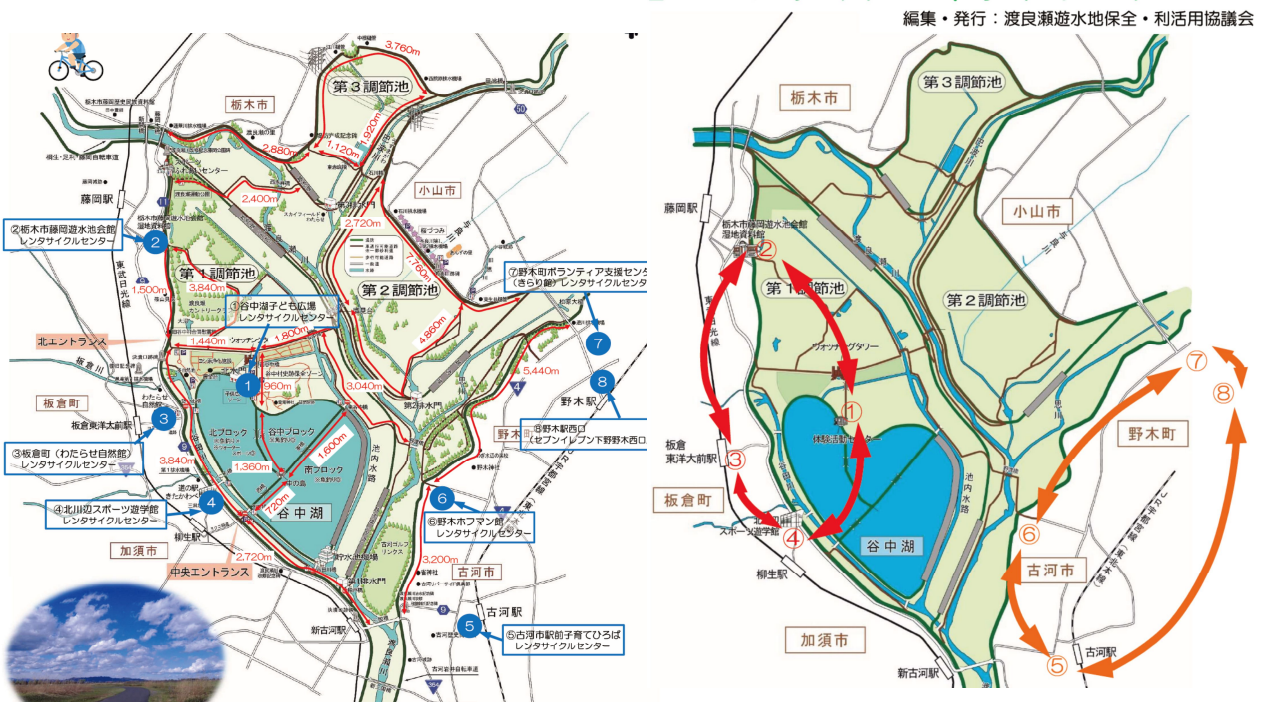
取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	○	○	○	○

取組方針

渡良瀬遊水地付近や周辺地域を周遊する移動手段として、コウノトリ交流館におけるレンタサイクルの実施を検討します。また、渡良瀬遊水地内の生井桜つつみから谷中湖への移動手段として、自然環境保全や脱炭素社会の実現等の観点から環境負担の少ない移動手段として、グリーンスローモビリティの導入についても併せて検討します。

取組施策

期	取組施策	担当課
中期	コウノトリ交流館に保管中の電動アシスト付き自転車について、利用体験等の社会実験を行い、利用ニーズを把握します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期	利用ニーズをもとにコウノトリ交流館における自転車のレンタル利用制度について検討を行い、実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	より広域の移動手段としてグリーンスローモビリティの導入について関連市町等と連携しながら検討します	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、都市計画課



渡良瀬遊水地保全・利活用協会より

COLUMN

グリーンスローモビリティ

グリーンスローモビリティは、時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。環境への負荷が少なく、狭い路地でも通行可能で、地域が抱える交通等の課題解決と脱炭素社会の確立を同時に実現できます。高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に活用する事例が全国にみられます。

環境にやさしいほか、時速が比較的緩やかなため、景色が楽しめる、重大事故が発生する可能性が低いというメリットがあります。

例 1：中心市街地内の回遊を補完（宮崎県宮崎市宮崎駅周辺）



例 2：市街地内住宅地と生活拠点や鉄道駅・バス停を連絡（千葉県松戸市河原塚南地区）



出典：国土交通省

4 ヨシの利活用機会の創出

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

古来より、渡良瀬遊水地の周辺では多くの農家が、農閑期である冬期の収入源として渡良瀬遊水地の良質なヨシを収穫、加工する「ヨシづくり」を盛んに行ってきましたが、近年は輸入品や代替品の普及により衰退し、生産農家は僅かとなりました。

地域資源としてのヨシを将来に引き継ぐため、ヨシズ等の活用支援やヨシの新たな活用方法の可能性を模索するとともに、日常では触れる機会の少ない方々に向けてヨシに触れる機会の創出を行います。

取組施策

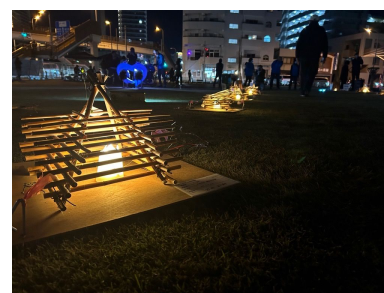
期	取組施策	担当課
短期～長期	渡良瀬遊水地周辺における快適環境の整備について、ヨシズハウスや観察小屋等、地元産のヨシズを積極的に活用します。	治水対策課
短期～長期	ヨシを原材料としてヨシ舟やヨシ灯り、ヨシ染め、雅楽楽器への利用等の新たな利活用方法を模索するとともに、これらの利用について制作体験や商品化の展開を進め、ヨシの普及啓発に取り組めます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、文化振興課
中期～長期	渡良瀬遊水地のヨシ原が持つ脱炭素社会への貢献度について、J-クレジット制度の活用も視野に入れつつ、関係者と連携しながら数値で評価できる手法の開発を模索します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



ヨシ灯り制作体験



ヨシ刈り風景

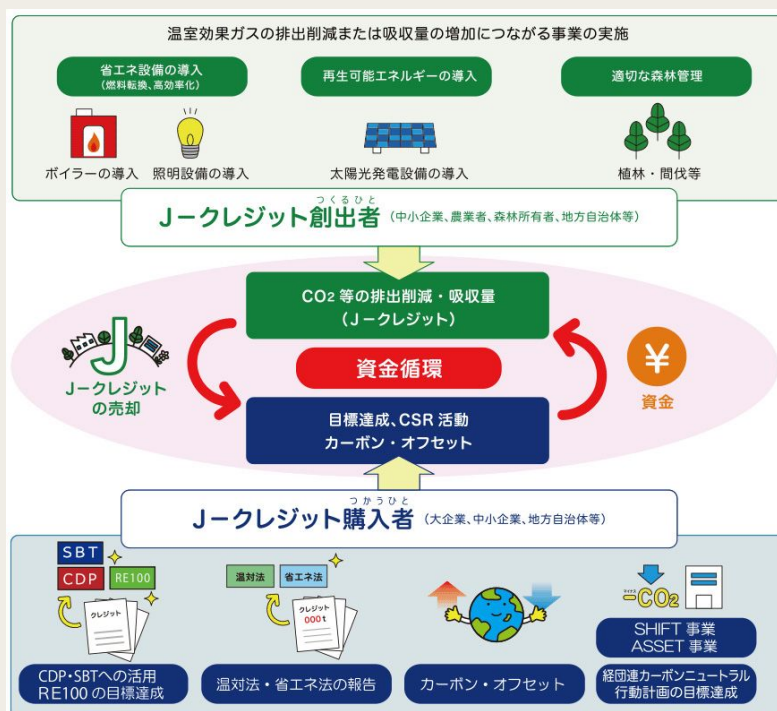


ヨシ灯り

COLUMN

J-クレジット制度

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO₂ 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO₂ 等の吸集量を「クレジット」として国が認証する制度です。



類似する森林管理の事例では、適切な間伐の実施により、森林の CO₂ 吸集量を高めるとともに、希少野生動物の生息環境を図ることで、生物多様性の維持にも寄与しています。

渡良瀬遊水地では、ヨシの適切な管理を通じたバイオマスの増加や炭素固定の増加が期待され、CO₂ の吸集量をクレジットとして認証することができます。

出典:J-クレジット制度 HP

5 渡良瀬遊水地、コウノトリ関係商品の開発販売促進

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	○	○	◎

取組方針

渡良瀬遊水地の魅力である広大なヨシ原や良好な湿地環境、田園環境のシンボルであるコウノトリをPRするため、飲食物やグッズ等の関連商品の開発や販売促進に取り組む方々を支援します。

また、渡良瀬遊水地の来訪者に向けた土産品として、コウノトリ交流館における販売を促進していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	渡良瀬遊水地やコウノトリ等の生きものをモチーフとし、小山市や周辺地域の原材料を使用した飲食物、グッズ等の商品を開発・販売する民間事業者を支援することを通じ、自然資源の適正な利用についての普及啓発に取り組みます。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	関連商品の販売を促進するため、コウノトリ交流館における常設の販売環境及び体制を整備するとともに、定期的なマルシェイベントを開催し、施設や渡良瀬遊水地の来訪者に対するPRを行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



わたらせコウノトリエール
(クラフトビール)

出典:KureBeer



コウノトリビスコッティ

出典:わたらせ自然ミュージアム

6 エコツーリズムの推進

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	◎	◎	◎

取組方針

渡良瀬遊水地やその周辺地域は、環境学習フィールド3や旧思川、周辺水田等の豊かな水辺空間を有しており、古くは思川の舟運の拠点でもあったことから、独自の文化を形成してきた歴史があります。エコツーリズムは、そうした地域固有の魅力を来訪者に体験していただくことにより、その価値や大切さが理解され、次の世代に引き継がれていくことを目指す仕組みです。

小山市では、コウノトリ交流館を拠点として、渡良瀬遊水地と周辺地域、旧思川などを地域固有の魅力の体験の場として一体的に活用していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	コウノトリ交流館、旧思川、周辺農地、生井桜つつみ、環境学習フィールド3、あんずの里等のスポットについて、関係者と連携してこれまでの活用実績等から魅力を洗い出し、関係を整理しながら自然・歴史・文化等の体験や学びにつながる複数のエコツアープログラムを設定します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課，農政課，治水対策課，公園緑地課
短期	各プログラムの社会実験を行い、その評価をプログラム改善や周辺整備の検討に活かします。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	コウノトリ交流館及びその周辺整備の検討状況と併せて複数の提案型プログラムを設定するとともに、プログラムのPR資料を作成しコウノトリ交流館を中心に普及啓発を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課



コウノトリ巣作り体験

渡良瀬遊水地コウノトリ交流館春の企画
おーパスでガイドと行く
渡良瀬遊水地と下生井歴史散策
2023年4月22日(土曜日)

<行程>
渡良瀬ラインに停車
間々田駅西口 08:30
コウノトリ交流館西 08:47
コウノトリ交流館 09:00
太田山道 09:10
池貝寺・荒島角太郎 09:15
小谷城址 09:25
生井八幡宮 09:40
大栗院跡 09:55
阿部家水堀 10:00
あんずの里サイカチの木 10:15
生井桜つつみ決壊口跡 10:35
環境学習フィールド3 10:50
コウノトリ観察小屋 11:20
なまいるさと公園 11:30
新緑庭園 11:50
昼食
新緑庭園 12:50
東生井集落 13:00
コウノトリ交流館 13:10
ミニよし作り
コウノトリ交流館 13:50
コウノトリ交流館西 14:08
間々田駅西口 14:30

バス代往復 400円
+
昼食代 ¥1,200 は
各自お支払いください。

保険に加入しますので、上記以外はお一人¥100を申し受けます。

お申込みの際は、お名前、住所、電話番号、交通手段をお知らせください。

「新緑」オマケの天ぷらセット
間々田駅西口からおーパス渡良瀬ラインに乗って行く。下生井史跡めぐり、3分後、渡良瀬遊水地の散策です。また、現在抱卵中のコウノトリに産卵する様子、観察小屋から子育て中のコウノトリの観察が期待できます。

ランチは、新緑でナマズの天ぷらと手打ちそばセットで川魚を食べる食文化に触れます。最後は、コウノトリ交流館でミニよし作り、記念にお持ち帰りいただけます。

マイカーでも参加もOK! (渡良瀬遊水地コウノトリ交流館集合)
マイカーで来られる方は、なまいるさと公園駐車場、または、コウノトリ交流館の石倉様の空き地に駐車してください。(注：なまいるさと公園は工事のため駐車場の一部が使えず、駐車台数に制限があります。)

催行人員：最小5名、最大15名(雨天中止)
申込受付期 申込締め切り：2023年4月18日
申込先：渡良瀬遊水地コウノトリ交流館
電話：0280-51-4593 E-mail: watarase.stork@gmail.com
受付時間：9:30～17:00(月曜休館)

歴史散策イベント

出典:わたらせ未来基金 HP

COLUMN

わたらせこども自然塾

わたらせこども自然塾は 2014 年9月から NPO 法人わたらせ未来基金、NPO 法人オリザネットにより開催された活動で、2016 年からラムサール湿地ネットわたらせが主催している活動です。渡良瀬遊水地の豊かな自然を小中学生の子どもたちが体験を通じて学び、将来的に環境を大切にする社会のリーダーとなってくれることを期待して実施されています。

ヨシ原での遊びや自然観察のほか、遊水地のヨシや周辺農地のワラを使った工作、地元の食材を使った料理にも挑戦するなど、地域資源をまるごと学ぶ取組は、まさにエコツーリズムの概念と一致する活動です。



出典:ラムサール湿地ネットわたらせ HP
<https://watarase.link/>

7 渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力発信

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	◎	◎	○	○	◎

取組方針

渡良瀬遊水地や周辺地域の魅力を多くの来訪者に学びとして提供するため、コウノトリ交流館の展示やフォトコンテストなどの表彰事業等の情報発信を進めていきます。展示内容の定期的な見直し・更新のほか、SNS による日常的な渡良瀬遊水地やコウノトリ等の動植物の情報の発信を行います。

なお、渡良瀬遊水地は広大な湿地に様々な魅力が含まれているため、関係市町との連携により互いの魅力を活かし高める取組を進めていきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～長期	来訪者の渡良瀬遊水地や周辺地域に関する体験や学びにつなげるため、コウノトリ交流館を中心として各種パンフレットや情報の提供、写真や資料の展示等を行い、渡良瀬遊水地に関する湿地保全、利活用、学習交流等のあらゆる情報を発信します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～長期	渡良瀬遊水地の風景や生きもの等の魅力を市内外、関係者に幅広く共有することを目的として、フォトコンテスト等の表彰事業を定期的実施します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
中期～長期	表彰作品については、各種展示やポスター、パンフレット等に活用し、情報発信に活用します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課

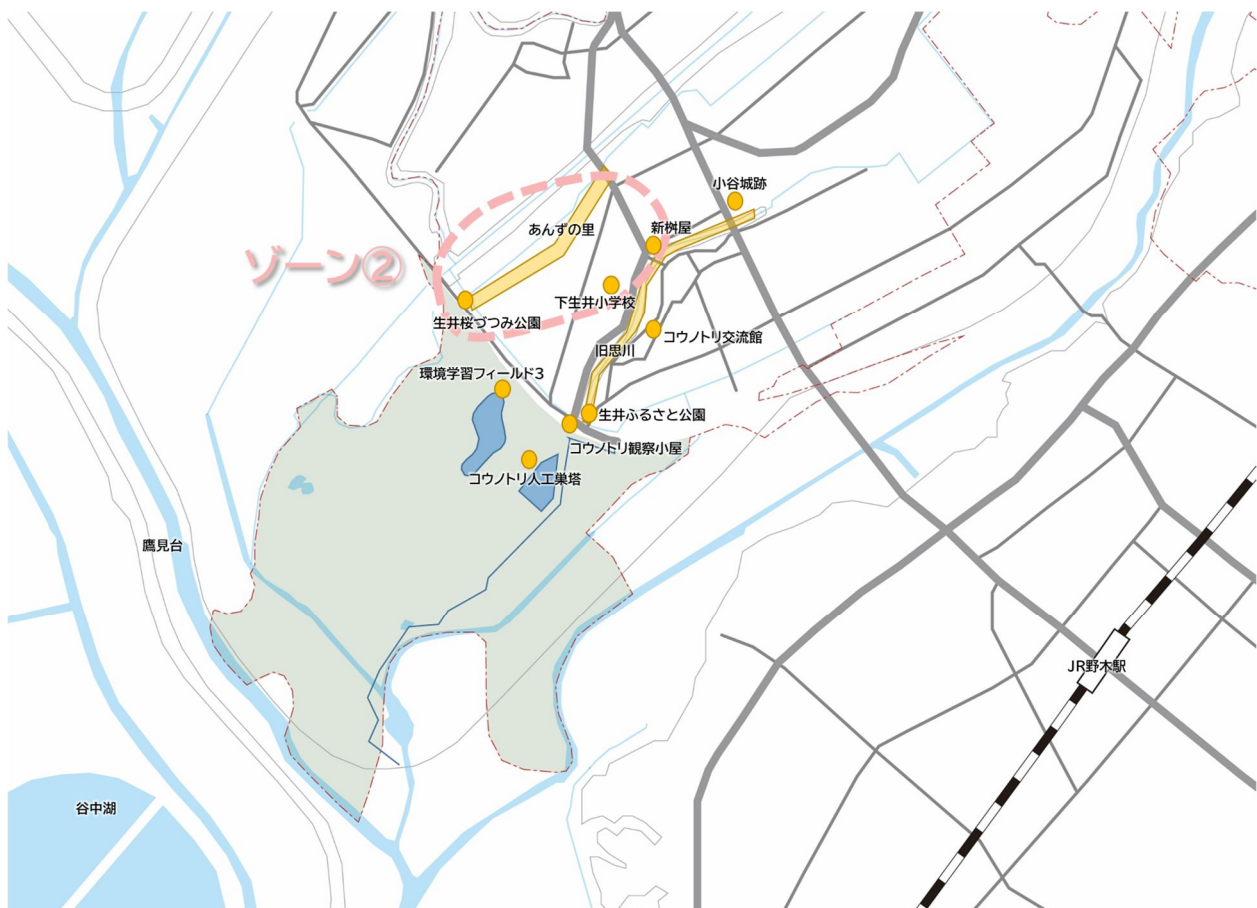
ゾーン②:下生井小学校、あんずの里、桜つつみ公園地域

目指すべきこと

小山市生井地区に点在する、生井桜つつみやあんずの里など、魅力的なスポットを連携して、一体的に利用するための整備を行っていきます。また、地区内にある「下生井小学校」は遊水地に隣接しており、豊かな自然環境を活かした学習を進めています。下生井小学校を中心に、環境教育モデルを構築し、渡良瀬遊水地及び周辺地域の魅力を後世にも伝承できるようにします。

施策一覧

- 8 渡良瀬遊水地周辺のアクセス道路整備
- 9 快適に利用するための環境整備
- 10 下生井小学校を中心とした環境教育モデルの構築



8 渡良瀬遊水地周辺のアクセス道路整備

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎					

取組方針

渡良瀬遊水地及び周辺地域を一体的に活用するため、2018年に、市道4505号(松原大橋西交差点から桜づつみT字路)が完成し、大型バスが通行可能となるなどアクセスが向上しました。今後、コウノトリ交流館の整備方針と併せ、旧思川、コウノトリ交流館、あんずの里、生井桜づつみなどのスポットをつなぐアクセスの向上について検討していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	コウノトリ交流館の現施設で不足する機能の改修にあわせて、アクセス道路の整備方針を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーボジティブ推進課, 道路課
短期～長期	コウノトリ交流館の防災ヤードと併設した施設整備を検討する中で、それに合わせてアクセス道路を検討します。また、コウノトリ交流館、旧思川、あんずの里、生井桜づつみなどのスポットをグリーンスローモビリティによって移動することも想定されるため、アクセス道路整備に際しては、様々な視点で検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーボジティブ推進課, 道路課



9 快適に利用するための環境整備

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	◎	○	◎	○

取組方針

現在、小山市渡良瀬遊水地及び周辺地域では、生井桜つつみ公園、なまいふるさと公園、コウノトリ交流館にトイレが設置されていますが、一度に多くの来訪者が訪れた際には不足することがあります。また、渡良瀬遊水地についての案内図やアクセス誘導についても、十分には整備されていません。

今後、旧思川やコウノトリ交流館、生井桜つつみや環境学習フィールド3などのスポットを繋ぎながら活用していくために、案内板等のサインやトイレ等の快適環境の整備について一体的に検討していきます。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期	現況のサインやトイレ等の設置状況を把握し、整備計画を検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課
短期～中期	サインやトイレ等の整備計画に基づき、整備の検討を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課

COLUMN

標識・サインの整備の例



出典: 釧路・阿寒観光公式サイト



出典: 別海町 HP



ラムサール条約登録湿地看板
出典: 環境省 HP

10 下生井小学校を中心とした環境教育モデルの構築

取組主体	行政	市民	団体	教育機関	専門家	事業者
関係度	◎	○	◎	◎	◎	○

取組方針

渡良瀬遊水地の自然環境、周辺地域の治水と防災の歴史・文化などをまろごと地域学習の教材として活用し、地域に愛着を持てる人材を育成することを目指し、下生井小学校を環境教育モデル校として位置付け、教材やガイダンス等の構築を行います。

教材については、市独自の制作物のほか、渡良瀬遊水地の関連市町や関係団体と連携して作成するものも活用し、渡良瀬遊水地に関わる幅広い見識と豊かな感性を育むことを目指します。

取組施策

期	取組施策	担当課
短期～中期	下生井小学校をモデルとして、低学年から高学年にかけて段階的に行う湿地教育に関するガイダンスを検討します。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 学校教育課, 教育研究所
短期～中期	ガイダンスづくりにおいては、学校や専門家、関係団体等の連携により、身につける能力や感性を設定するとともに、使用する教材づくりや利用方法についても連携して検討を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 学校教育課, 教育研究所
短期～中期	モデル事業においては実施児童を対象としたアンケート等を行い、その効果について検証を行います。	ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課, 学校教育課, 教育研究所
中期～長期	モデル事業の成果(ガイダンス)を市内の各校にも一部適用し、湿地教育の成果を小山市全域に広げていきます。	学校教育課, 教育研究所



小山市渡良瀬遊水地教材



下生井小オンライン交流学習